

にっぽん

「日本年金機構」が1月1日からスタート!

国民年金

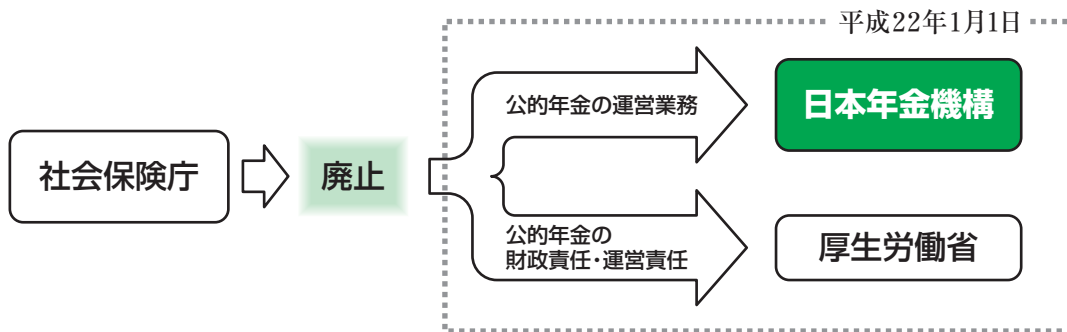
〈問合先〉
岐阜南社会保険事務所
☎273-6161



～社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。～

皆さんの信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

- 現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。
- 日本年金機構の設立に伴い、これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種の関係書類は、内容により、今後は厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただくこととなりますが、皆さんに何らかの手続きをしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。
- 日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運營業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。



教育委員会だより



～あたたかい人間関係を築く～

「人権について考える」というと、「何だか難しそうな話だ」「自分とは直接関係ない、遠い世界の話」と感じてしまう人も見えるかと思えます。ですから、「人権を尊重する」と言われても、どんなことをしたらよいのか思い浮かばない…。

しかし、人権にかかわる問題は私たち一人ひとりの身近な生活の中にあると言われていています。女性の人権、子どもの人権、高齢者や障がいのある人、外国人、インターネット…などの町や職場、そして家庭にもごく当たり前存在しているものなのです。

こう考えてみると人権を尊重することとは、目の前にいる誰かを大切にすること。そして、地域や

職場・学校、家庭で「あたたかい人間関係」をみんなで作っていくことと言えるのではないのでしょうか。

社会はさまざまな人が集まってできています。自分と同じような立場や考えの人もいれば、ちょっと違う立場や考えの人もいるはず。むしろ、全然違う、自分と反対の立場や考えを持つ人もいます。明らかに相手が間違っている場合もあるでしょうし、善悪では割り切れないこともあるかもしれません。

私たちはともすると自分と違う考え方に出会うと、「自分の方が正しい」と相手を否定しがちです。そこに、偏見や差別の芽が生まれます。

相手の立場を考え、たとえ自分とは違ってもその考えを尊重すること…それこそが「あたたかい人間関係」を築いていく第一歩であり、このことが人権を尊重することに他ならないのだと考えます。

“みんなちがって、みんないい”

教育電話相談

～悩んだら気軽に電話してください～

羽島郡二町教育委員会 ☎ 245-1133